

教育目標	◎深く考えて行動する子(めあてをもち、自ら学ぶ子) ◎思いやりのある子(心優しく、助け合う子) ○健康で明るい子(命の大切さがわかる、たくましい子)
めざす子像	○子供の学ぶ意欲と喜びのあふれる学校 ○いじめのない、子供が安心して通える学校 ○子供と地域社会を結ぶ学校
めざす教師像	○学びと体力向上の喜びを与える教師 ○現状把握を的確に行い子供の心に寄り添う教師 ○けじめある指導を適切に行う教師 ○誠意をもって外部対応できる教師

努力指標は4段階でご記入ください。

努力指標・成果指標の数値は4段階評価です。

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標(中間)	努力指標(最終)	成果指標(中間)	成果指標(最終)	分析コメント	改善策
知育・徳育	確かな学力の育成	基礎基本の定着	習熟度指導・個別指導の充実、ICT機器の積極的活用、学習習熟度を高めるための家庭学習の計画的な提示	4		4		・家庭学習で、授業の進度に合わせた課題を出し、定着を図っている。 ・教科担任を導入したことで、それぞれの児童のつまずき等を生かし、授業改善に取り組んだり、児童の理解改善に取り組むことができる。 ・パワーポイントやデジタル教科書を活用し、児童の視覚的な理解に繋げている。 ・教科担任を導入したことで、それぞれの児童のつまずき等を把握し、授業改善に取り組んだり、児童の理解改善に取り組むことができる	・自分の考えをもち、伝えていけるようにする。 ・朝の学級の時間に朝学習を取り入れ、児童が自分のペースに合った学習を自ら行うようにしていく。 ・少人数での話し合いを通して、自分の意見を表出できるようにする。 ・UDの授業の充実を図り、学び合い、教え合いを授業の中で多く取り入れていく。
		読解力の向上に基づく言語能力の育成	計画的な読書活動、教員による読み聞かせや一人読書と本紹介、言語能力育成を視点にした日常的な授業改善	4		3		・図書室での学習の時間を確保するとともに、国語(図書)以外の学習でも図書室の資料を活用した授業を行うことで、本や図鑑に触れ合い、知識を蓄える機会を増やしてきた。 ・毎週の図書の時間の確保を行うとともに、学校司書やでんでん太鼓、保護者による読み聞かせを行っているが、子供たちは本に触れる機会が少ないのが現状である。各教科での並行読書ができるようにしたい。	・担任も読み聞かせをしたり学級文庫の充実をしたりして本に触れる楽しさを感じさせる。単元計画をもとに図書館司書と連携していく。 ・日常的な振り返りを行う際、観点をしっかりと提示したり、良い振り返りの書き方を価値づけたりするようにする。
	豊かな人間性の確立	けじめある学校生活	計画的な授業の実施、学習規律の確立、あいさつの励行、「九小の約束」の徹底	4		3		・話を聞く姿勢や態度を年度当初に徹底させ、お手本となる児童を価値づけながら規律を図った。元氣よく挨拶をしている。 ・教科担任制ということもあり、学習の規律や学校生活のルールなどを学年全体で統一して指導にあたっている。 ・毎週学年会で授業計画を立てて、授業を進めている。指導をしたときには心掛けるが、継続が難しい。	・引き続き指導を行っていく。できている児童を称賛し、見本となる児童を広げていく。 ・道徳の授業を活用し、なぜ守るのかを児童に考えさせていく。 ・学年集会で「九小のルール」を確認したが、その後も廊下を走ったり教室移動の際しゃべったりしている児童がいる。①廊下を走ることによる危険、安全面について②低学年の手本となる姿についてこの2点を朝の会や道徳の授業の時間に指導していく。
		思いやりと感謝の心の育成	児童理解のための教員研修、考え、議論する道徳授業の充実、縦割り班活動、「九小タイム」の充実	4		4		・道徳では、自分の考えをもつことはできているが、それを元にさらに議論をしていきたい。 ・児童の実態・課題を見て授業をすすめている。 ・九小タイムの充実など、異学年交流には積極的取り組むことができる。一方で、児童同士のかかわりには課題も見られる。	・議論が活発になるような「問い返し」を有効的にしていく。 ・「九小タイム」では、自分であればどのように進行するかの視点を与え、自分事として考えさせる。 ・教科担任であることの良さを生かし、各学級の児童についての良いところも課題も共有し、指導の方針をもそろえていく。
		音楽・芸術活動の充実	音楽集会の実施、学級における音楽活動、図工作品の展示、日本の伝統文化を活かした活動					・火曜日の朝に「歌の時間」を設けて音楽集会に向けて「今月の歌」の取り組みを行っている。子供たちは楽しく取り組んでいる様子であり音楽集会では大きな声でのびやかに歌っている。 ・図画工作科では展覧会に向けて児童が自分の思いを作品として形になるよう熱心に制作に取り組んでいる。 ・総合的な学習の時間では、バケツ稲で稲を育てたり、九ちゃん農園で赤米を育てたりと日本で昔から行われている稲作の学習を計画的に進めている。	・実際の活動や体験を大切にして、引き続き取り組んでいく。 ・芸術に触れることを活動に取り入れながら、豊かな感性が育まれるよう引き続き、取り組んでいく。
健全育成	健康でたくましい心身の育成	食の教育の充実	体験的な食育の実践、栄養士・調理員との交流	4		4		・栄養士と児童との交流を深め、「作ってくれる人」との関わりを通して、食の教育の充実を図っている。 ・国分寺市でとれる野菜(こくべじ)にかかわるように、ソラメのさやむきやトウモロコシの皮むき、たけのこ掘りやブルーベリー摘みなどの経験を通して、作る人のことを考えた給食の時間を作れるようにしている。 ・給食では、あまり量を食べられない児童や、偏食の児童など、個人差がある。	・食育と実際の食事とのつながりを意識した給食時の声掛けを続けていく。 ・残菜を減らすための声かけや給食委員会の取組を効果的に活用していく。 ・学級の実態に応じた「もぐもぐタイム」の時間などを活用し、完食することや栄養について考えていくことを目指す。
		体力増進に向けた活動の充実	運動量の確保を目指す体育学習、「九小ギネス」～長縄跳び、学級での休み時間の取組、外遊びの推進	4		4		・休み時間の外遊びの推奨や、体育の時間を日常の生活に展開できるような体づくり運動などを通じて体力増進に努めている。 ・休み時間にはほとんどの児童が外に出て元気に遊ぶことができる。しかし一方で、一部外に出たがらない児童もいる。	・2学期以降の九小ギネス等も活用しながら、日常的な運動への取り組みが向上するよう各学級で指導を継続していく。 ・外遊びをしたがらない児童に対して声掛けし、縄跳び集会なども活かしながら外遊びを促す。
		児童の危機意識の向上	地域との連携を図る避難訓練、登下校訓練、定期の安全指導・朝会・安全点検、危機回避能力の育成	4		3		・登下校時や放課後の交通ルールを守ることの重要性を安全指導朝会等で繰り返し指導している。 ・緊張感をもって避難訓練に望めている。実施後の振り返りでは、実際にあった災害や事件の事例をもとに、対策等を考えることができた。 ・安全点検を効果的に実施している。	・登校時、校内でも安全にルールを守って歩行できるよう引き続き指導していく。 ・避難訓練、不審者対応の訓練なども緊張感をもって取り組めるよう引き続き指導していく。 ・道徳、学級活動、体育などで、危機管理理について指導を行ったり、東京SNSルールなど電子的な活動分野においても基礎的な危機管理ができるよう指導を継続していく。
地域連携	保護者・地域と連携	体験的な学習の充実	コミュニティ・スクールとして、地域の人材やボランティア、教材を活用した学習や体験的学習を取り入れた授業実践の充実	4		4		・たくさんの体験活動を通して、実践的に学べている。体験活動ができるのはボランティアさんのおかげなので、ありがたい。 ・姿見の池や九ちゃん農園などでCSと連携を取りながら、教科横断的な学びを育むことができた。	・教員のライフワークバランスを考えながら、良き九小の取り組みとして継続できるように連携を取りながら運営していく
		教育活動の公開や情報発信	学校の教育活動に関する分かりやすい情報発信	4		4		・九ちゃんブログや学年だより、学級だより、スクールメールなどを活用し、教育活動を保護者へ発信している。	・引き続き、プライバシーに考慮しながら、情報の発信をしていく。